

# 秋田市の「隠れた才能」表現



CM制作を通じて得た学びや感想などをお披露目会で語る高校生ら

秋田市の魅力をPRするCM制作に市内の高校生が挑戦する市の事業「高校生CM塾」で完成した作品が18日、市役所で報道機関向けにお披露目された。6月の企画会議以降、「秋田市って実は才能がある」をテーマに、参加した高校生が撮影から編集まで一貫して手がけた。ショート（2分45秒、QRコード下）とロング（3分30秒）の2種類があり、いずれもYouTubeの市公式チャンネルで閲覧できる。



## 高校生CM完成

CM塾には、市の募集に応じた秋田公立美術大、学付属高等学院2年の江島侑来さんと戸田洋一朗さん、同1年の関友晴さん、秋田南高2年の佐藤咲凛さん、同1年の武田六歌さん、秋田高2年の渡邊しおりさん、秋田商業高2年の千葉心咲さんの7人が塾生として参加。渡邊さんは役者として演技も披露した。撮影は今年8、9の両日に秋

お披露目会には塾生7

## 制作時の苦労など語る 市役所でお披露目



「高校生CM塾」で制作されたCMのワンシーン

人に加え、役者として参加した高校生や社会人、塾生に指導したCMディレクターで映画監督の成田洋一さん（秋田市出身）、沼谷純市長らも出席。完成したCMのほか、塾生が話行錯誤しながら制作に取り組み過程を収

耳を傾けてくれたおかげで思い通りの作品になった。撮影を手がけた関さんは「演者や演出部のコミュニケーションや協調性が大事だと学べた」とそれぞれ振り返った。成田さんは「CM作りを通じて高校生の心の成長を感じられた。かなり難しい撮影だったと思うが、こだわりを持ってやり遂げたのが素晴らしい」と語った。作品を見た沼谷市長は「役者の表情やしぐさをとても丁寧に撮っている。ものすごい作品になっている。秋田市の高校生はすごいと感じた」と語った。CM塾は市の「未来創造人材育成・プロモーション事業」の一環。高校生が地域の魅力について考え、地元への愛着を深めてもらうことで将来的な帰郷や定着につなげる目的で初めて実施した。CMは今後、市のプロモーションイベントや県内外の屋外広告などで放映される予定。

（佐藤優将）